

進捗報告書（実行団体）

事業名: ○○○○×××事業
 資金分配団体: 特定非営利活動法人○○○団体
 実行団体名: ○○団体
 実施時期: 2020年 月～2021年 月
 事業対象地域: ○○県
 事業対象者: ○○○○

Version 1.2
 日付: 2021年xx月xx日

I. 事業概要

事業概要

II. 進捗報告の概要

総括

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況	
活動	進捗状況	概要

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
（団体として、事業実施後（1年以降）に目標とする状態への指標等を設定している場合、ご記載下さい）

V. インプット

	2021年度	2022年度	合計	執行金額	執行率
事業費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
直接事業費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
補足説明					

年度毎の金額（水色部分金額）：
 資金計画のものを転記下さい。

執行金額（白色部分）
 実際に使用した金額を記載下さい。

執行率が低い場合の理由など必要があれば、

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）		

広報制作物等		
報告書等		

当該事業費を使って製作したもの（出版物、印刷物、映像等、事業費を使って対外的に当事業を訴求するために制作されたもの）について制作物の種類、発行・製作時期、概要リンク先、部数等を記載してください。提出可能な資料がある場合はデータ等を添付してください。

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。		
2. 内部通報制度は整備されていますか。		
3. 上記設問2で「はい」の場合、利用はありましたか。		

進捗報告書（実行団体）

事業名: 子どもの為の支援事業
資金分配団体: 特定非営利活動法人○○○
実行団体名: 一般社団法人△△△
実施時期: 2020年8月～2021年8月
事業対象地域: 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
事業対象者: コロナで休校対象となった学校に通学する学生

Version 1.2
日付: 2021/12/12

事業計画書でご記載いただいている
ものをご転記下さい。

作成日を記載下さい。。

I. 事業概要

事業概要

新型コロナウィルス感染症拡大に伴い、在宅での学習を余儀なくされているが、十分な学習環境を持たない子どもに、通信機器の提供や学習プログラムの提供を行うことで、生まれた場所に左右されない学習環境の維持と貧困格差拡大の防止を目指す。

事業計画書でご記載いただいている
ものをご転記下さい。

II. 進捗報告の概要

総括

全体として、日程の遅れはあるが、想定の活動を順次進めている。懸念点は、活動拡大の部分にある。当初予定をしていた、事業対象者へのリーチが、緊急事態宣言の再発動により、リアルではスムーズに行えない状況となっており、遅延あり。不確定な見通しの中で、変化に対応しうる事業計画への更新検討を、現場の声を確認しながら実施していく予定。

III. 活動実績

資金支援

アウトプット (今回の事業実施で達成される状態)	進捗状況
・ひとり親世帯約100世帯の子どもにICタブレットを配布し、オンライン補習学習支援を行っている ・関連団体との連絡会議が2回開催されている	・世帯へのタブレット配付は想定の30%程度にとどまる。背景は、ターゲットへのアプローチをイベントを中心に計画をしていたが、緊急事態宣言を受け、イベントの開催が難しくなったことによるもの。今後、オンライン上での告知、募集やFAXでの申込受付などで拡充を図る想定。 ・連絡会議も同様に、一旦中止とした。今後オンライン環境を団体間で整備し、オンラインでの実施を予定
活動	進捗状況

活動	進捗状況	概要
例) ・関係者との会議開催 ・タブレットの配布	ほぼ計画通り	例) 行政(○○市○○部)、企業(○○会社、○○会社)、NPO関係者○名、地域住民○名を集めた会議を○月に開催し、活動の概要の説明を行い合意を得た上で活動を開始した。 関係性づくりが少しできしたことから、築けるように進めている。引き続き、関係者に情報共有・報告をしながら進めていき、関係者間でのネットワークが構築されることを目指す。 ・配付についてはxxx

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述

当初、想定をしていた目標とする状態は、地域において、ひとり親世帯約100世帯の子どもの学習機会が継続的に確保され、それ以外の家庭との学力差が大きく発生していない、というものであったが、その実現については、現在の機器や食料の支援といった現在の活動に加えて、対人的支援が必要であることが実施の中で確認された。一方で、対人支援の実現については、シームレスな団体間の連携が必要となるが、コロナ禍での事業遂行という部分も有、まだ十分な連携の機会構築ができていない部分が存在する。…

○年度毎の金額（水色部分金額）：
資金計画のものを転記下さい。

○執行金額（白色部分）
実際に使用した金額を記載下さい。

○執行率が低い場合の理由など必要があれば、
自由記載下さい。

V. インプット

	2021年度	2022年度	合計	執行金額	執行率
事業費	¥2,800,000	¥0	¥2,800,000	¥2,670,000	95%
直接事業費	¥200,000	¥150,000	¥350,000	¥54,000	15%
管理的経費	¥3,000,000	¥150,000	¥3,150,000	¥2,724,000	86%
合計	補足説明				
	特になし				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

貧困環境下にある家庭においては、訪問によるアウトリーチ後のサービス提供が有効という想定でスタートをしていたが、時勢上、訪問を好ましく思わず、拒否する家庭が想定以上に存在することが認識された。また、想定していた学習支援事業についても、複数の予定場所が閉鎖、貸出禁止となる事例が発生したこと、周囲の住民からの苦情で中止を余儀なくされる、等、感染症による対人感情が、想定以上に事業の遂行に影響を与えている。今後の感染拡大の推移によっては、よりこの部分が強く表れる可能性がある。対応については……

VII. その他

自由記述

特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	●●新聞（20.12.12号）にて「XXX」で掲載 オンラインリンク：http://yyy

広報制作物等	無	
報告書等	無	

当該事業費を使って製作したもの（出版物、印刷物、映像等、事業費を使って対外的に当事業を訴求するために制作されたもの）について制作物の種類、発行・製作時期、概要リンク先、部数等を記載してください。提出可能な資料がある場合はデータ等を添付してください。

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 上記設問2で「はい」の場合、利用はありましたか。	利用はなかった	